

事務事業 No./名 称	□サービス部門 教総-24 情報教育事業 ■支 援 部 門				ザイムスコード及び個別事業名	
					1005	情報教育の推進・充実
主管課	教育指導課			関連課		
分野名	学校教育					
目標 (目標値)	情報社会に対応した情報教育の推進・充実を図る					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考		
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯	・各年5月1日(学校基本調査)		
	児童生徒数	10,943人	10,744人			
運営資源 状 況	決算値	60,102千円	60,717千円			
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	60,102千円	60,717千円			
	人員配置数	1.7人	1.7人			
	人 件 費	17,255千円	16,679千円			
	協 働 の パートナー	各学校・中体連・中文連・ 研究会部会他	各学校・中体連・中文連・ 研究会部会他			
事務事業 運営経費	総事業費	77,357千円	77,396千円			
	市民1人当 りの経費	438円	439円			
	対象者1人 当りの経費	7,069円	7,204円			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・教育用コンピュータ台数増加及び教育支援ソフトの充実。 ・情報セキュリティ・情報モラルについてのカリキュラム、教材の充実。 ・情報教育アドバイザー的な人材の派遣。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・小学校に小学校1年から6年生までの学習ソフトを導入した。 ・教育用コンピュータを50台増設し、各小学校21台に統一した。 ・人材派遣が不可能なので、導入ソフト会社による研修の開催を学校ごとに呼びかけた。 ・情報セキュリティ・情報モラルについての教材の紹介、啓発をした。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 授業支援ソフトの導入。 導入ソフトの研修全校実施。 各小学校にサーバを設置する。 インターネットの回線速度の向上。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) インターネットの回線速度の充実。 各小学校にストレージサーバの設置。 導入ソフトの研修会開催の呼びかけ。				
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	評価結果			改善の必要性	情報化社会に対応した、特色ある鎌倉の教育を推進するために、今後も学校教育の充実と円滑な学校教育運営に努めたい。
A	有	A			有	
ICT機器・技術の急速な進歩に対応すべく、情報教育の推進及び情報機器の整備に努める。						
課長名		教育指導課長 八神陽介		部名・部長名		教育総務部 宮田茂昭